

「科学博物館で学ぶ」

担当教員名 谷本 勉

1 コースの概要

日 程	2013年8月～2013年10月
場 所	各地の科学博物館
参加人数	10人

2 コースの目的

「科学博物館で学ぶ」は、グループ学習ではなく、あくまで原則個人参加のコースであり、各自がそれぞれの博物館でどのような企画・セミナーが計画されているかを調べ、参加するイベントを決定し、大学外の現場（フィールド）で環境問題等を学習することを目的とします。

3 事前学習

担当教員の研究室において数人ごとに事前学習会を開き、コースの目的を周知し、具体的な参加事例の検討を行い、学習計画、実行に向けての必要事項の確認を行いました。

4 行程（内容）

1つのテーマが4時間以上のものを1日分の学習として認め、それ以下のものを半日分として、合計4日分の学習をすることを義務づけています。

たとえば Y さんの場合は以下のような日程で行われました。

8月16日「国立科学博物館」

学習テーマ：夜の天体観望公開

学習の目的：普段、月しか見ることができず、その他の天体の位置や特徴をあまり理解していないので、実際に見ることで理解できるようにしました。

8月24日「千葉県立中央博物館」

学習テーマ：むしの声ーキリギリスとコオロギー

学習の目的：夜に活発に活動する虫の鳴き声を聞きながら、虫の生態、それぞれの特徴について勉強しました。

9月14日「千葉県立中央博物館」

学習テーマ：水槽栽培の水生植物を触って比べよう

学習の目的：埋土種子から発芽させて水槽栽培している多様な水生植物を直に触って比べながら学習しまし

た。

10月12日「国立科学博物館筑波実験植物園」

学習テーマ：植物園で秋のきのこを観察しよう

学習の目的：植物園で秋のきのこを観察し、それぞれのきのこの生態系やとくちょうについて勉強しました。

10月19日「国立科学博物館」

学習テーマ：アザミの王国、日本列島

学習の目的：4人のアザミの研究者から、それぞれのアザミの研究について学ぶ。そして、アザミの知識を深めました。

10月26日「日本科学未来館」

学習テーマ：DNAの抽出

学習の目的：ニワトリの肝臓からDNAを抽出して、観察しながらDNAの構造について学びました。

5 事後学習

参加するすべてのイベントについて、事前の計画書の提出と事後の報告書の提出を義務づけています。これらのやり取りを通して学習の効果を高めています。

6 雑感

参加するイベントを決定するまでが大変で、この段階で参加希望者の半分近くが挫折します。参加人数10人はその結果であり、やり遂げる人はさらに減ることになります。個人参加の自由にはそれなりの大変さが伴うということです。



千葉県立中央博物館で管理している水生植物を特別に採取、観察しました。